

柏市近隣自治会参加者の感想

シナリオのない「発災対応型防災訓練」に参加

柏ハイズ自主防災組織 副会長 中条様

昨年に引き続き、今年も隣接する流山市美田自治会および同市6自治会と西柏台地区（柏ハイズ、シティプラス柏自治会、西柏台第二町会）との合同防災訓練を実施しました。

今回は全国でも例を見ない「発災対応型防災訓練」への参加で、柏地区の参加者全員、初体験であり真剣に取り組みました。

「発災対応型防災訓練」とは、いわば「シナリオのない防災訓練」です。具体的には、数か所に「火災現場」「家屋倒壊現場」を設け、避難住民が避難時にその場に直面し、どんな行動を起こすか、などの行動をチェックする訓練です。

柏ハイズからは9名が参加し、この防災訓練の手法を学びました。今後の「各町会の防災訓練」などに多いに活用したいと思います。



美田地区・近隣総合防災訓練 見学報告コメント

柏市十余二緑町町会 満島 様

- ・ 緑町でも発災対応型訓練を今後取りいれていくとよいのではないかと。要援護者避難支援はいまでの実施可能。
- ・ 柏側の参加者は、自主防災などの役員が多かったためか、ほとんどヘルメット着用で参加。緑町も参考にすべき。全体として子どもの参加者が多かった。
- ・ 非常持出し袋（リュック）持参での訓練参加の習慣を、よくPRしていくべき。緑町では、非常持出し袋を準備するようPRし、所持状況のアンケートをするなどして普及させるべきか。
- ・ 行政との連絡の訓練は、西原全体でもっと実施すべし。
- ・ このような訓練をしても、いざというときには役立たない、意味がない、という人は緑町だけでなく他町会にもいるようだ。しかし、意識を高めることができるし、こうした機会にふれあいを深めることができるし、どのみち訓練したことしかできないのだから訓練はするべき。来年は美田の訓練に、若い方数名を見学させてもらってはどうか。

